

美術史・文化遺産実習2C－Ⅱ

科目ナンバリング FAH-208
選択必修 2単位

岡部 昌幸

1. 授業の概要(ねらい)

日本の古美術品や染織品、それらに関する史資料に直接触れ、そこから様々な情報を読み取る訓練をおこなう。まずは、美術資料の正しい取り扱い方を習得する。その上で、各々の美術資料から必要な情報(材質、技法、箱書きや作品に記されている内容、製作者の情報など)を読み取り、それらを分析して、作品解説する方法を身につける。そのため、簡単なくずし字を読むスキルも必要となる。また折にふれ、展覧会見学会を行い、実作品を観察して自ら何かを発見する経験を大切にしたい。秋期は、染織品の取り扱いや、古美術品の作品調査とその解説を書く実習をおこなう。作品調査の成果は図録として刊行する。

2. 授業の到達目標

美術資料の基礎的な調査方法をマスターし、解説が書けるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(出席態度、授業内の課題)(60%)や課題の出来(40%)などを総合的に判断して評価する。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

なるべく多くの美術館、博物館へ行き、自ら何かを発見する経験を多くもつこと。

6. その他履修上の注意事項

授業時間外に、美術館への展覧会見学や、外部の博物館へ作品調査に行くことがある。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス 授業の内容と進め方の説明 |
| 【第2回】 | 古美術品の取扱いと調査方法 |
| 【第3回】 | 展覧会見学会① |
| 【第4回】 | 作品調査①調書 |
| 【第5回】 | 作品調査②写真撮影 |
| 【第6回】 | 作品解説を書く① |
| 【第7回】 | 作品解説を書く② |
| 【第8回】 | 展覧会見学会② |
| 【第9回】 | 作品図録出版作業① |
| 【第10回】 | 作品図録出版作業② |
| 【第11回】 | 染織品の取扱い①講義 |
| 【第12回】 | 染織品の取扱い②実践 |
| 【第13回】 | 束帯、衣冠、狩衣を着る |
| 【第14回】 | 模擬展示会とギャラリートーク |
| 【第15回】 | まとめ |